なでしこほいくしょ りすぐみだより 令和4年9月



木々の葉の色が変わり始め、秋の訪れも目に見えてわかるようになってきました。伸び伸びと体を動かすことを楽しんでいる子ども達。昼夜の気温差が大きい季節でもあるので、健康面には十分に気をつけていきたいと思います。



りすぐみでは絵本を見る時間を特別に持っている訳ではありませんが、子ども達は絵本が大好きで、誰かが「これ!」と保育士の所へ持って来てひざの上にちょこんと座り一緒にみていると、他の子ども達も集まってきて気づくとみんなで楽しんでいるということがよくあります。絵本をみる時、大人は文字をみてから絵に目をやることが多くなりますが、文字を読めない子ども達にとっては絵が全てで私たちが気がつかない細かなところまでみていて子ども達の方がより絵本を楽しめているようです。食べ物があればパケッ!と食べる真似をして「おいし~り」と言ったり、主人公が寝転んだり、跳ねたりすれば自分もゴロンやピョンピョンと体で表現をしたり、子ども達は現実の世界と同じように絵本の世界も「五感」で感じているんでしょうね。



感受性がグンと豊かに育つ今の時期に絵本からも子ども達の「五感」を刺激する体験が楽しめるような読書の秋にしたい と思っています。お家でも親子で絵本の時間をぜひ楽しんでください♪